

解 説

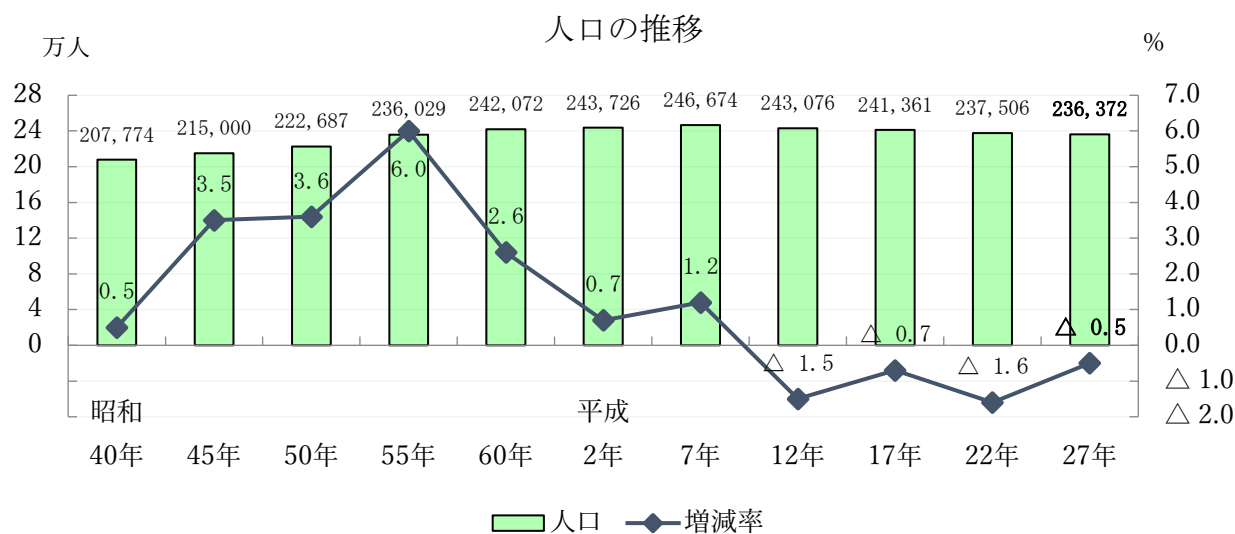
人口等基本集計結果

佐賀市の人口は 236,372 人(前回調査時から 1,134 人減少, 増減率△0.5%)

平成 27 年国勢調査における 10 月 1 日現在の佐賀市の人口は 236,372 人であり, 前回調査時(平成 22 年)の人口 237,506 人に比べ 1,134 人の減少となった。5 年ごとの人口増減率をみると, 昭和 55 年の 6%をピークに平成12年以降はマイナスが続いている。

人口, 5年前の人口に対する増減, 面積, 人口密度の推移

年 次	人口(人)	5年前の人口に対する増減		面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
		増減数(人)	割合(%)		
昭 和 30 年	206,296	8,053	4.1	422.98	487.7
昭 和 35 年	206,639	343	0.2	422.98	488.5
昭 和 40 年	207,774	1,135	0.5	424.98	488.9
昭 和 45 年	215,000	7,226	3.5	427.44	503.0
昭 和 50 年	222,687	7,687	3.6	431.79	515.7
昭 和 55 年	236,029	13,342	6.0	431.79	546.6
昭 和 60 年	242,072	6,043	2.6	431.79	560.6
平 成 2 年	243,726	1,654	0.7	431.43	564.9
平 成 7 年	246,674	2,948	1.2	431.42	571.8
平 成 12 年	243,076	△ 3,598	△ 1.5	431.42	563.4
平 成 17 年	241,361	△ 1,715	△ 0.7	431.42	559.5
平 成 22 年	237,506	△ 3,855	△ 1.6	431.42	550.5
平 成 27 年	236,372	△ 1,134	△ 0.5	431.84	547.4



自然増減数マイナスが続く

前回調査時から平成27年までの5年間における自然増減数（出生－死亡）については毎年減少しており、人口の逡減傾向が続いている。その一方で、社会増減数（転入－転出）については平成27年にプラスとなった。

年次別人口の推移

年次	人口 (人)	男 (人)	女 (人)	人口増減数 対前年(人)	人口増減率 対前年(%)	自然動態 (人)	社会動態 (人)
平成22年	237,506	112,173	125,333	△ 704	△ 0.3	△ 221	△ 125
平成23年	236,978	111,839	125,139	△ 528	△ 0.2	△ 214	△ 314
平成24年	236,620	111,644	124,976	△ 358	△ 0.2	△ 222	△ 136
平成25年	235,954	111,201	124,753	△ 666	△ 0.3	△ 502	△ 164
平成26年	235,358	110,859	124,499	△ 596	△ 0.3	△ 442	△ 154
平成27年	236,372	111,453	124,919	1,014	0.4	△ 345	46

注1) 平成22年, 平成27年は国勢調査, その他の年は推計人口による。

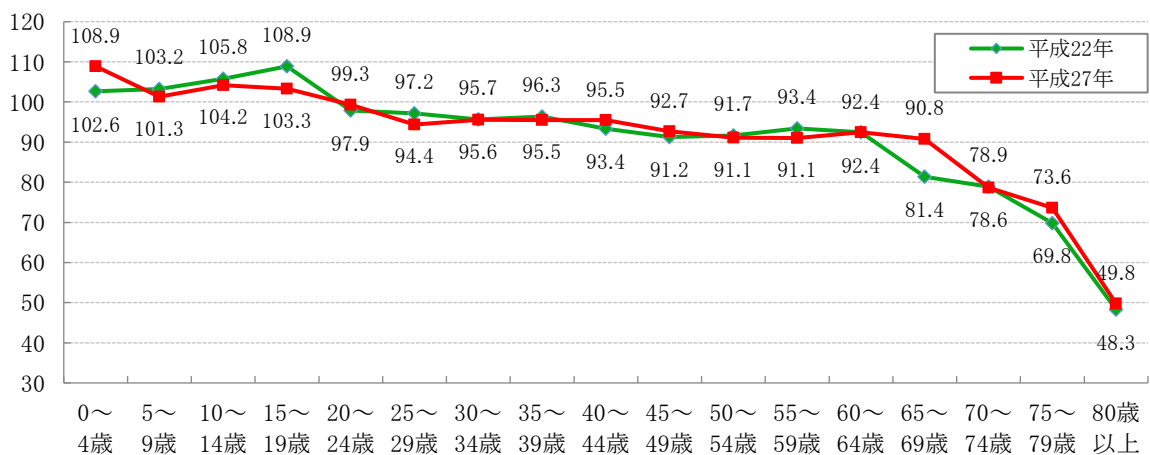
注2) 各年次の自然動態及び社会動態は, 前年10月1日から当年9月末日までの数値。

注3) 人口増減数は自然動態と社会動態の集計であり、国勢調査による人口の差引きとは一致しない。

女性100人に対し男性は89.2人

市の人口236,372人を男女別にみると男性が111,453人, 女性が124,919人で女性が13,466人多くなっており、性比（女性100人当たりの男性の数）は89.2である。この性比を年齢別にみると、若年層では100を超えているが、年齢が高くなるに従い低下する傾向がみられる。

年齢(5歳階級)別人口性比(女性100人に対する男性の数)



上昇している死別率，離別率

市の15歳以上人口のうち男性は93,646人，女性は108,193人である。また，未婚者数は男性28,853人，女性26,479人でその割合はそれぞれ30.8%，24.5%，有配偶者数は，男性56,033人，女性56,154人でそれぞれ59.8%，51.9%である。5年前と比べて未婚者数の割合は，男女ともに増加した。

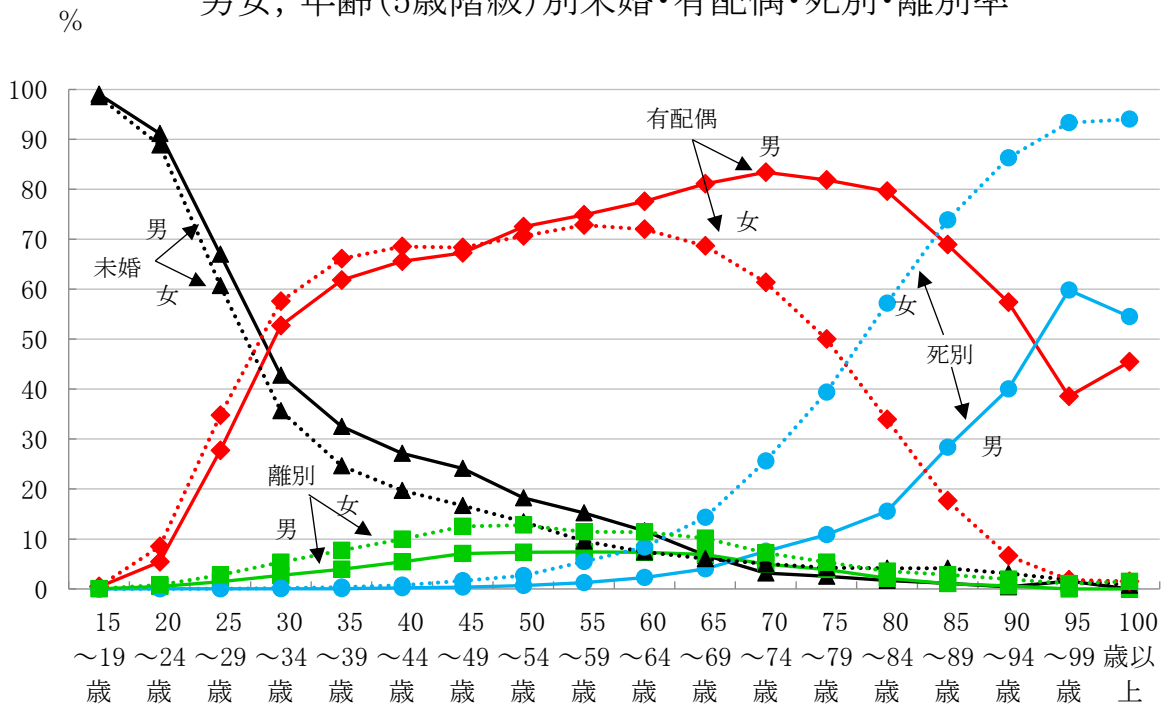
つぎに，夫又は妻と死別した者の数は，男性が3,169人（3.4%），女性16,533人（15.3%）で女性が圧倒的に多い。また，離別者数においても男性が4,229人（4.5%），女性7,915人（7.3%）で女性が多く，離別者の割合は男女とも増加している。

配偶関係別割合の推移

年次	男(%)					女(%)				
	15歳以上人口 1)	未婚	有配偶	死別	離別	15歳以上人口 1)	未婚	有配偶	死別	離別
昭和55年	100.0	27.2	69.2	2.5	1.0	100.0	23.3	59.9	14.1	2.6
昭和60年	100.0	27.7	68.4	2.5	1.4	100.0	23.2	59.2	14.2	3.3
平成2年	100.0	29.2	66.4	2.5	1.7	100.0	24.2	57.6	14.3	3.7
平成7年	100.0	31.1	64.0	2.7	2.1	100.0	25.1	55.9	14.8	4.1
平成12年	100.0	31.2	62.9	2.8	2.7	100.0	24.8	54.9	14.9	5.0
平成17年	100.0	31.5	61.3	3.1	3.5	100.0	24.7	53.7	15.2	6.0
平成22年	100.0	31.2	60.7	3.3	4.0	100.0	24.3	52.7	15.3	6.8
平成27年	100.0	30.8	59.8	3.4	4.5	100.0	24.5	51.9	15.3	7.3

1) 配偶関係「不詳」を含む。

男女，年齢(5歳階級)別未婚・有配偶・死別・離別率



子ども1人に対し高齢者が約1.9人

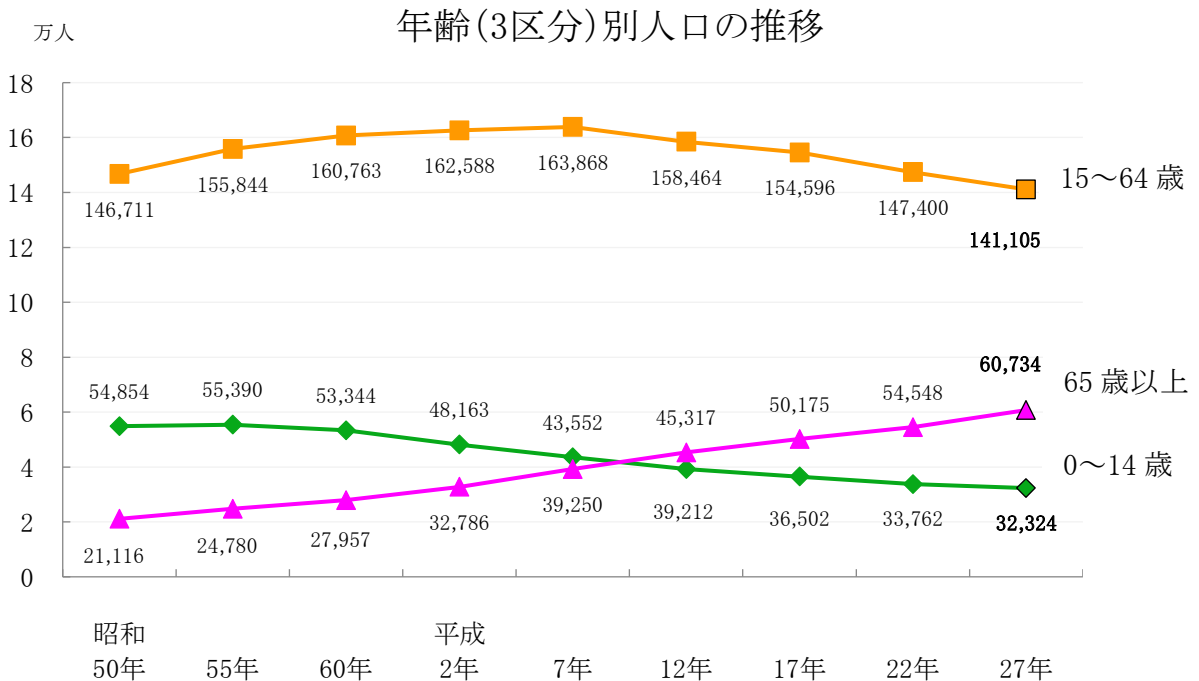
市の人口236,372人を年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)に3区分すると、年少人口は32,324人、生産年齢人口は141,105人、老年人口は60,734人である。

年少人口1人に対する老年人口は、平成22年は約1.6人であったのに対し、平成27年では約1.9人と少子高齢化が進んでいる。

年齢(3区分)別人口の推移

項目	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
人口 (人)	総数 1)	222,687	236,029	242,072	243,726	246,674	243,076	241,361	237,506	236,372
	0～14歳	54,854	55,390	53,344	48,163	43,552	39,212	36,502	33,762	32,324
	15～64歳	146,711	155,844	160,763	162,588	163,868	158,464	154,596	147,400	141,105
	65歳以上	21,116	24,780	27,957	32,786	39,250	45,317	50,175	54,548	60,734
割合 (%)	総数 1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	24.6	23.5	22.0	19.8	17.7	16.1	15.1	14.2	13.7
	15～64歳	65.9	66.0	66.4	66.7	66.4	65.2	64.1	62.1	59.7
	65歳以上	9.5	10.5	11.5	13.5	15.9	18.6	20.8	23.0	25.7
年齢 構造 指数	年少人口指数	37.4	35.5	33.2	29.6	26.6	24.7	23.6	22.9	22.9
	老年人口指数	14.4	15.9	17.4	20.2	24.0	28.6	32.5	37.0	43.0
	従属人口指数	51.8	51.4	50.6	49.8	50.5	53.3	56.1	59.9	65.9
	老年化指数	38.5	44.7	52.4	68.1	90.1	115.6	137.5	161.6	187.9

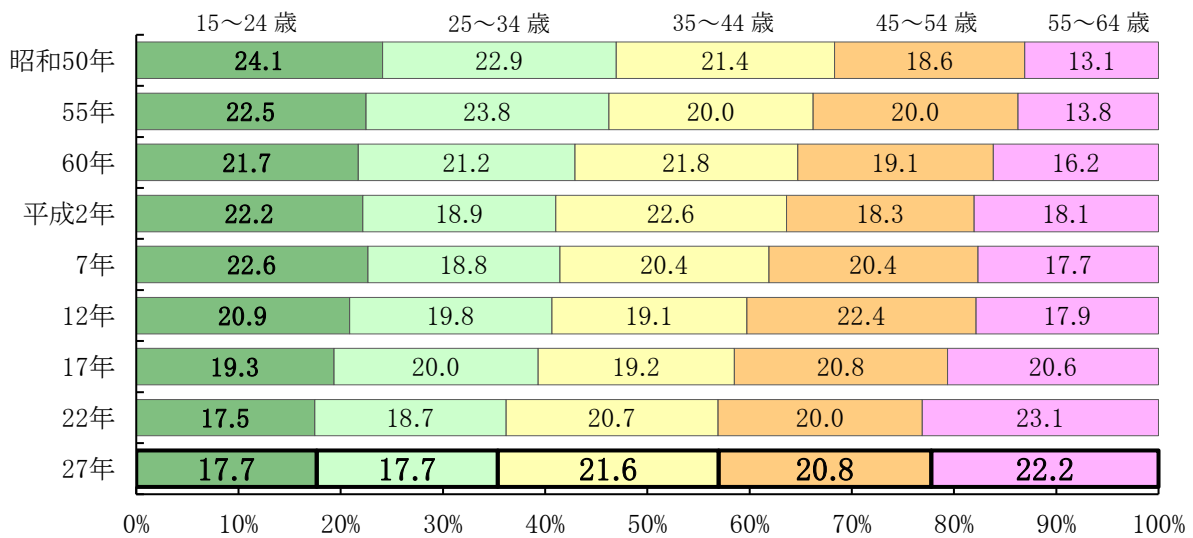
1) 年齢「不詳」を含む。



生産年齢人口の高齢化が進む

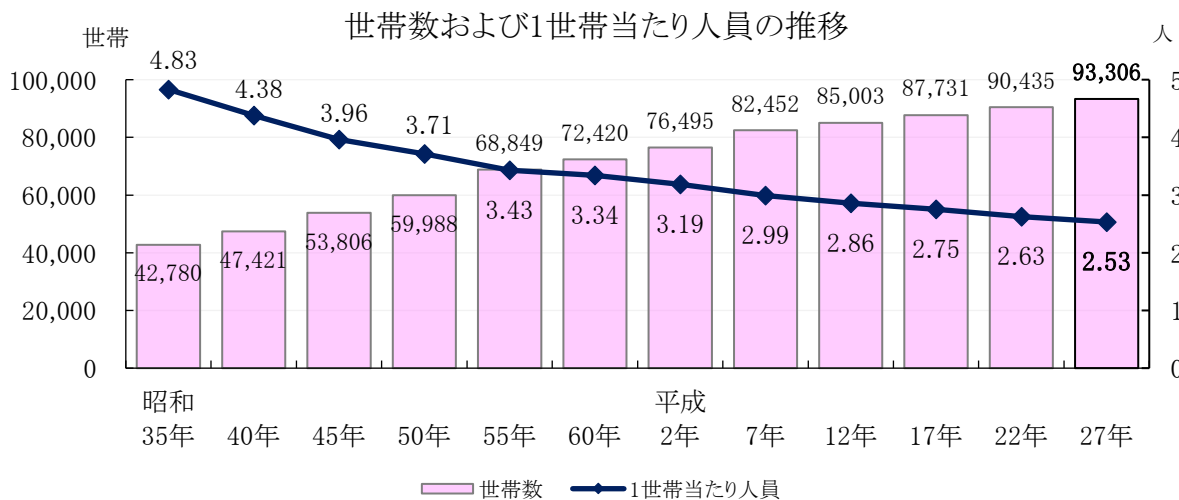
生産年齢人口を10歳きざみに区分したとき、平成7年からの20年間で人口の割合は、15～24歳で4.9ポイント、25～34歳で1.1ポイント減少し、35～44歳で1.2ポイント、45～54歳で0.4ポイント、55～64歳で4.5ポイント増加した。

年齢(5区分)別生産年齢人口割合の推移



世帯数は93,306世帯(前回調査時から2,871世帯増加)

市の世帯数は93,306世帯となり、前回調査時と比べ2,871世帯(3.2%)の増加となっている。1世帯当たり人員は2.53人となり、昭和35年調査以降減少が続いている。



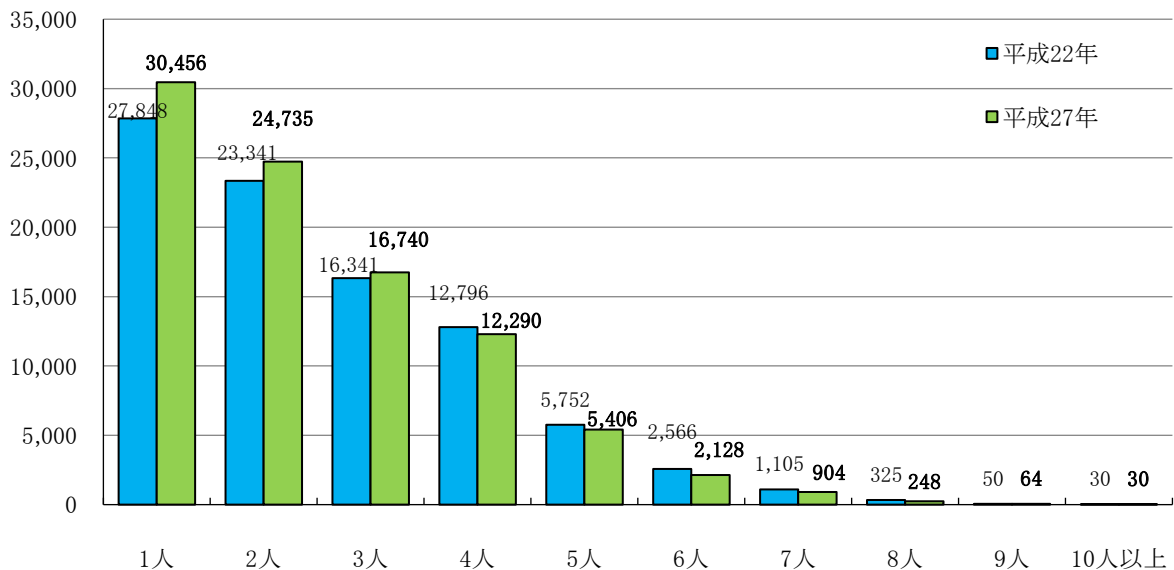
1人世帯, 2人世帯, 3人世帯の増加が続く

世帯数のうち、一般世帯は93,001世帯で前回と比べて2,847世帯(3.2%)の増加となっている。一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が30,456世帯(32.7%)と最も多い。3人までの世帯は増加し、4～8人の世帯は減少している。

世帯人員別一般世帯数の推移

世帯人員	一般世帯数			構成比(%)			増減率(%)	
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	22年/17年	27年/22年
総数	87,445	90,154	93,001	100.0	100.0	100.0	3.1	3.2
1人	25,188	27,848	30,456	28.8	30.9	32.7	10.6	9.4
2人	21,899	23,341	24,735	25.0	25.9	26.6	6.6	6.0
3人	15,756	16,341	16,740	18.0	18.1	18.0	3.7	2.4
4人	13,280	12,796	12,290	15.2	14.2	13.2	△ 3.6	△ 4.0
5人	6,281	5,752	5,406	7.2	6.4	5.8	△ 8.4	△ 6.0
6人	3,102	2,566	2,128	3.5	2.8	2.3	△ 17.3	△ 17.1
7人	1,430	1,105	904	1.6	1.2	1.0	△ 22.7	△ 18.2
8人	387	325	248	0.4	0.4	0.3	△ 16.0	△ 23.7
9人	88	50	64	0.1	0.1	0.1	△ 43.2	28.0
10人以上	34	30	30	0.0	0.0	0.0	△ 11.8	0.0

世帯 一般世帯の世帯人員別世帯数



「単独世帯」は増加, 「夫婦と子供から成る世帯」は減少

一般世帯を家族類型別にみると, 単独世帯が 30,456 世帯(一般世帯の 32.7%), 「夫婦と子供」世帯が 24,690 世帯(26.5%)であり, この二つで一般世帯数の過半数を占めている。

単独世帯は前回調査時に続き最も多い家族類型となった。

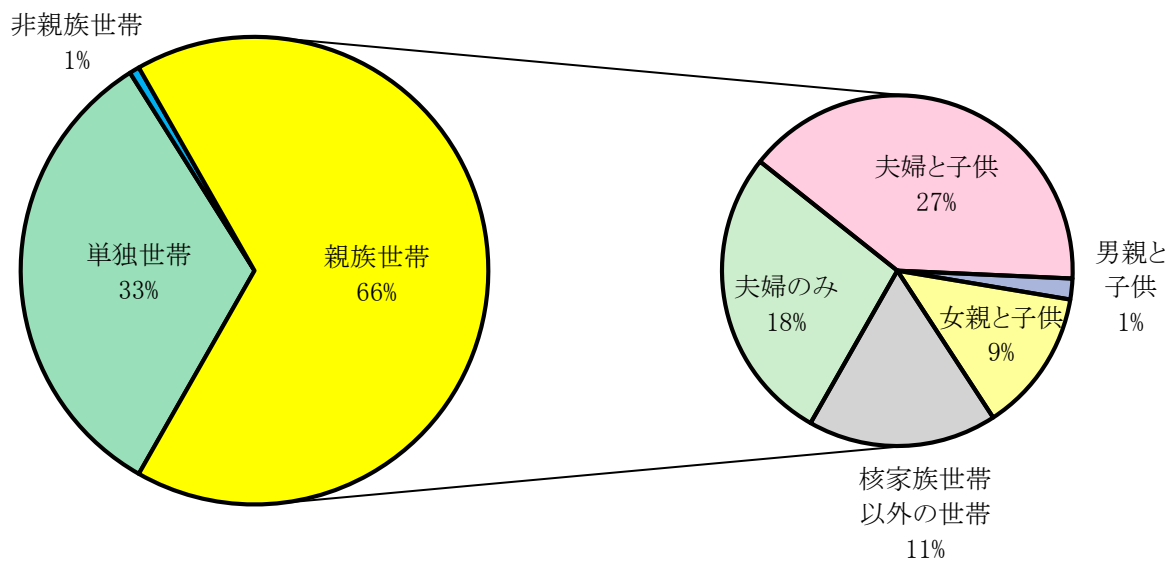
世帯の家族類型一般世帯数

世帯の家族類型	一般世帯数		構成比(%)		前回比	
	平成22年	平成27年	平成22年	平成27年	増減数	増減率(%)
総数 1)	90,154	93,001	100.0	100.0	2,847	3.2
親族世帯	61,579	61,687	68.3	66.3	108	0.2
核家族世帯	49,195	50,929	54.6	54.8	1,734	3.5
夫婦のみ	16,072	16,934	17.8	18.2	862	5.4
夫婦と子供	24,303	24,690	27.0	26.5	387	1.6
男親と子供	1,106	1,184	1.2	1.3	78	7.1
女親と子供	7,714	8,121	8.6	8.7	407	5.3
核家族世帯以外の世帯	12,384	10,758	13.7	11.6	△ 1,626	△ 13.1
非親族世帯 2)	700	651	0.8	0.7	△ 49	△ 7.0
単独世帯	27,848	30,456	30.9	32.7	2,608	9.4

1) 世帯の家族型「不詳」を含む。

2) 親族・非親族が同居する世帯を含む。

世帯の家族類型別割合



高齢者(65歳以上世帯員)のいる世帯は 38,857 世帯で一般世帯の 41.8%を占める

世帯員の年齢によって一般世帯を区分すると、65歳以上世帯員のいる世帯は 38,857 世帯、18歳未満世帯員のいる世帯は 22,075 世帯となっている。これを世帯の家族類型別にみると、18歳未満世帯員のいる世帯のうち、ひとり親と子供からなる世帯は 2,480 世帯、65歳以上世帯員のいる世帯のうち、夫婦のみの世帯は 10,210 世帯、単独世帯は 9,588 世帯となっている。

6歳未満、18歳未満及び65歳以上世帯員のいる一般世帯

世帯の家族類型	一般世帯数	一般世帯人員	6歳未満世帯員のいる			18歳未満世帯員のいる			65歳以上世帯員のいる		
			世帯数	世帯数に占める割合(%)	6歳未満世帯人員	世帯数	世帯数に占める割合(%)	18歳未満世帯人員	世帯数	世帯数に占める割合(%)	65歳以上世帯人員
総数 1)	93,001	228,309	9,239	9.9	12,412	22,075	23.7	39,105	38,857	41.8	55,733
親族のみの世帯	61,687	195,466	9,206	14.9	12,366	21,917	35.5	38,869	29,060	47.1	45,801
核家族世帯	50,929	146,721	7,489	14.7	10,032	16,972	33.3	30,070	19,828	38.9	32,202
夫婦のみの世帯	16,934	33,868	-	-	-	-	-	-	10,210	60.3	18,502
夫婦と子供から成る世帯	24,690	90,799	6,994	28.3	9,433	14,492	58.7	26,127	5,194	21.0	9,025
男親と子供から成る世帯	1,184	2,727	20	1.7	25	160	13.5	245	739	62.4	758
女親と子供から成る世帯	8,121	19,327	475	5.8	574	2,320	28.6	3,698	3,685	45.4	3,917
核家族世帯以外の世帯	10,758	48,745	1,717	16.0	2,334	4,945	46.0	8,799	9,232	85.8	13,599
非親族を含む世帯	651	1,798	33	5.1	46	86	13.2	164	209	32.1	344
単独世帯	30,456	30,456	-	-	-	72	0.2	72	9,588	31.5	9,588

1) 世帯の家族類型「不詳」を含む。

「一人暮らし 65歳以上人口」(65歳以上の単独世帯数)は 9,588 人(世帯)

市の 65歳以上人口のうち、単独世帯で暮らす人(一人暮らし 65歳以上人口)は、9,588 人で 65歳以上人口に占める割合は 15.8%となり、前回調査時の 14.5%より 1.3ポイント増加した。

また、65歳以上人口のうち、男女別の一人暮らし 65歳以上人口の割合は、男性が 10.6%、女性が 19.4%となっており、女性が男性を 8.8ポイント上回っている。

世帯の種類、男女別65歳以上人口

世帯区分・男女別		平成27年				平成22年			
		市 全 域		うち人口集中地区		市 全 域		うち人口集中地区	
		人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
65歳以上人口	総数	60,734	100.0	31,615	100.0	54,548	100.0	27,558	100.0
	男	24,971	100.0	13,099	100.0	21,855	100.0	11,132	100.0
	女	35,763	100.0	18,516	100.0	32,693	100.0	16,426	100.0
単独世帯	総数	9,588	15.8	6,442	20.4	7,903	14.5	5,286	19.2
	男	2,638	10.6	1,724	13.2	1,795	8.2	1,162	10.4
	女	6,950	19.4	4,718	25.5	6,108	18.7	4,124	25.1
施設等の世帯	総数	5,001	8.2	1,374	4.3	4,077	7.5	1,092	4.0
	男	1,346	5.4	401	3.1	1,038	4.7	315	2.8
	女	3,655	10.2	973	5.3	3,039	9.3	777	4.7

「持ち家」の割合は 59.4%

住宅に住む一般世帯(91,633 世帯)を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が 54,473 世帯(59.4%)で最も多く、次いで民営の借家 33,649 世帯(36.7%)となっている。

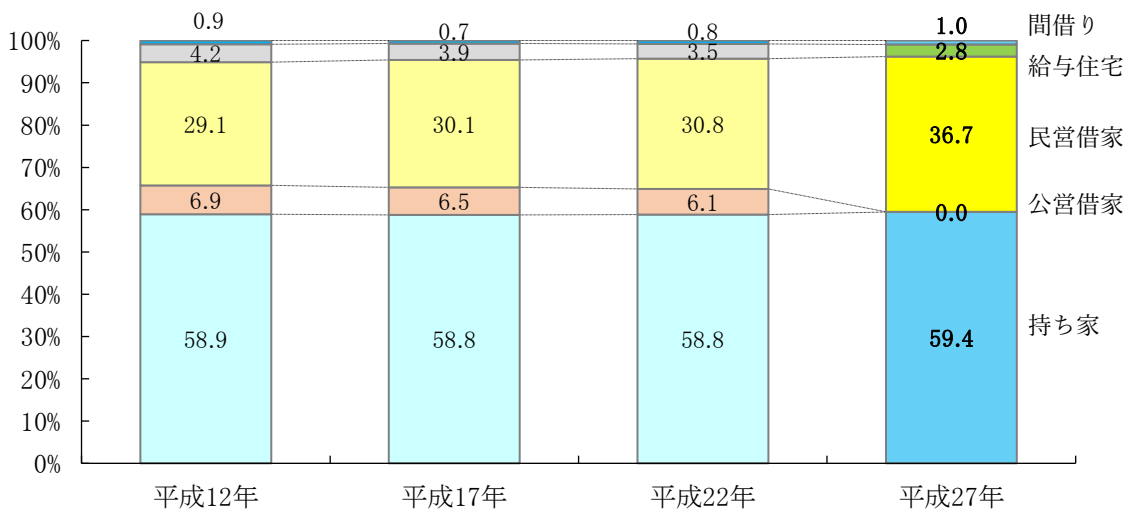
また、住宅に住む一般世帯人員を平成 22 年と比較してみると、民営の借家において 11,708 人増加しており、その増加率は 22.2%と最も高くなっている。

住居の種類、住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数

住居の種類・ 住宅の所有の関係	上段:世帯数 下段:世帯人員(人)				割合(%)				増減率(%)		
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年 ~17年	平成17年 ~22年	平成22年 ~27年
住宅に住む一般世帯	83,448	86,380	89,141	91,633	100.0	100.0	100.0	100.0	3.5	3.2	2.8
主世帯	82,697	85,775	88,456	90,760	99.1	99.3	99.2	99.0	3.7	3.1	2.6
持ち家	49,134	50,752	52,459	54,473	58.9	58.8	58.8	59.4	3.3	3.4	3.8
公営・都市再生機構・ 公社の借家 ¹⁾	5,736	5,652	5,410	36	6.9	6.5	6.1	0.0	△1.5	△4.3	△99.3
民営の借家	24,315	26,015	27,430	33,649	29.1	30.1	30.8	36.7	7.0	5.4	22.7
給与住宅	3,512	3,356	3,157	2,602	4.2	3.9	3.5	2.8	△4.4	△5.9	△17.6
間借り	751	605	685	873	0.9	0.7	0.8	1.0	△19.4	13.2	27.4
住宅に住む一般世帯人員	234,323	232,365	228,711	226,053	100.0	100.0	100.0	100.0	△0.8	△1.6	△1.2
主世帯	232,871	231,171	227,168	224,305	99.4	99.5	99.3	99.2	△0.7	△1.7	△1.3
持ち家	159,763	157,145	154,249	154,261	68.2	67.6	67.4	68.2	△1.6	△1.8	0.0
公営・都市再生機構・ 公社の借家 ¹⁾	15,443	14,411	13,064	101	6.6	6.2	5.7	0.0	△6.7	△9.3	△99.2
民営の借家	48,807	51,555	52,658	64,366	20.8	22.2	23.0	28.5	5.6	2.1	22.2
給与住宅	8,858	8,060	7,197	5,577	3.8	3.5	3.1	2.5	△9.0	△10.7	△22.5
間借り	1,452	1,194	1,543	1,748	0.6	0.5	0.7	0.8	△17.8	29.2	13.3

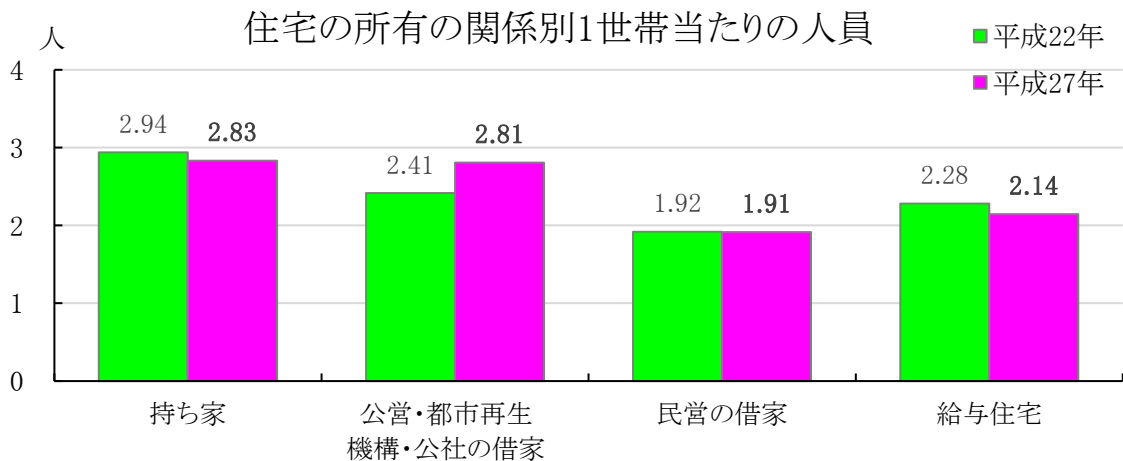
1) 県・市より委託されて民間企業が管理運営を行っている場合は「民営の借家」となる。

住宅の所有の関係別一般世帯の割合



「持ち家」の1世帯当たり人員は2.83人

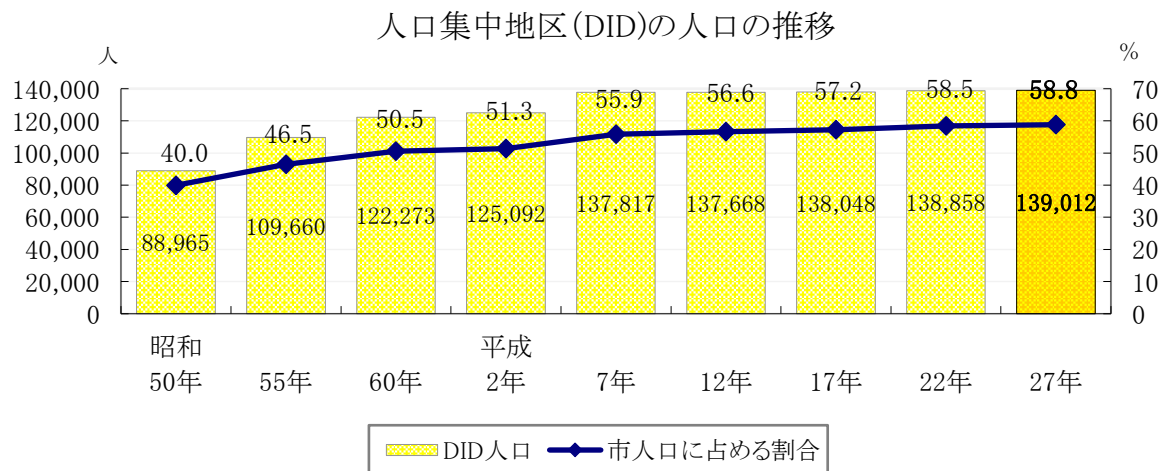
1世帯当たり人員を住宅の所有の関係別にみると、最も多いのが持ち家の2.83人、次いで公営・都市再生機構・公社の借家の2.81人となっている。人口の減少と世帯数の増加により、1世帯当たりの人員は公営・都市再生機構・公社の借家を除きいずれも減少している。

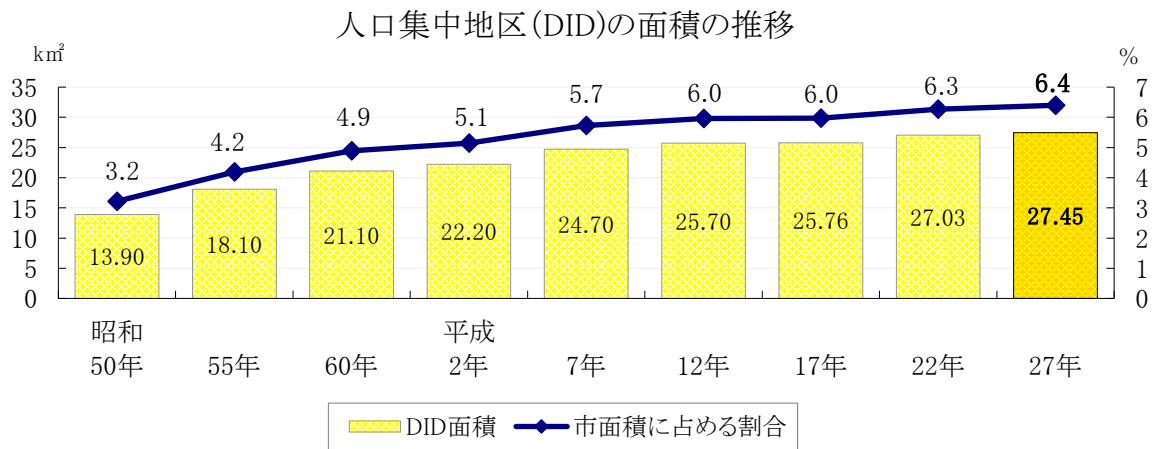


人口集中地区(DID)人口の割合は市の人口の58.8%

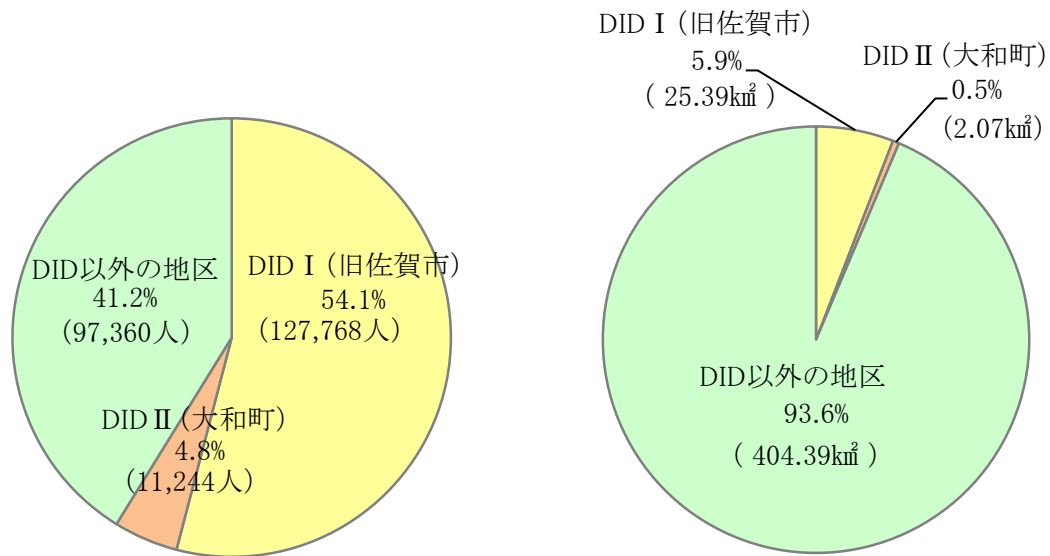
平成27年の佐賀市の人口集中地区(DID)は、旧佐賀市と大和町に設定されている(P107地図)。人口は139,012人(市の人口の58.8%)、面積は27.45k㎡(市全域の6.4%)となっている。

市の人口は減少傾向であるのに対し、人口集中地区人口、人口集中地区面積は微増傾向にある。また、市の人口の半数以上が市の面積のわずか6.4%の人口集中地区に居住している。





平成 27 年人口集中地区 (DID) の人口 (左) および面積 (右) の割合



富士町, 三瀬村の人口減少率が高い

前回調査時からの人口の推移を旧市町村ごとにみると、人口が増加したのは旧佐賀市で1,042人、大和町が94人であった。一方、他の地域では人口は減少しており、川副町が△1,025人、諸富町が△460人、富士町が△380人、久保田町が△154人、東与賀町が△128人、三瀬村が△123人となっている。また、減少率は富士町が△8.7%で最も高く、次いで三瀬村が△8.6%であった。

旧市町村別人口の推移

	人口(人)			人口増減数(人)		人口増減率(%)	
	平成27年	平成22年	平成17年	22年/27年	17年/22年	22年/27年	17年/22年
佐賀市	236,372	237,506	241,361	△ 1,134	△ 3,855	△ 0.5	△ 1.6
旧佐賀市	165,465	164,423	166,745	1,042	△ 2,322	0.6	△ 1.4
諸富町	10,778	11,238	11,806	△ 460	△ 568	△ 4.1	△ 4.8
大和町	21,985	21,891	22,114	94	△ 223	0.4	△ 1.0
富士町	3,979	4,359	4,774	△ 380	△ 415	△ 8.7	△ 8.7
三瀬村	1,305	1,428	1,528	△ 123	△ 100	△ 8.6	△ 6.5
川副町	16,574	17,599	18,250	△ 1,025	△ 651	△ 5.8	△ 3.6
東与賀町	8,222	8,350	7,930	△ 128	420	△ 1.5	5.3
久保田町	8,064	8,218	8,214	△ 154	4	△ 1.9	0.1

旧市町村別の人口密度は、旧佐賀市と諸富町が高い

市の人口密度は547.4人/km²で、人口の減少に伴い人口密度も低下している。

旧市町村別に人口密度をみると、旧佐賀市の1,594.7人/km²が最も高く、次いで諸富町896.7人/km²、久保田町560.4人/km²などとなっている。

旧市町村別面積及び人口密度

	面積(km ²)			人口密度(人/km ²)			
	平成27年	1) 2)	平成22年	平成17年	平成27年	平成22年	平成17年
佐賀市	431.84		431.42	431.42	547.4	550.5	559.5
旧佐賀市	103.76		103.76	103.76	1,594.7	1,584.6	1,607.0
諸富町	12.02		12.02	12.02	896.7	934.9	982.2
大和町	55.42		55.42	55.42	396.7	395.0	399.0
富士町	143.25		143.25	143.25	27.8	30.4	33.3
三瀬村	40.70		40.70	40.70	32.1	35.1	37.5
川副町	46.49		46.49	46.49	356.5	378.6	392.6
東与賀町	15.39		15.39	15.39	534.2	542.6	515.3
久保田町	14.39		14.39	14.39	560.4	571.1	570.8

1) 国土交通省国土地理院「平成27年全国都道府県市区町村別面積調」による。

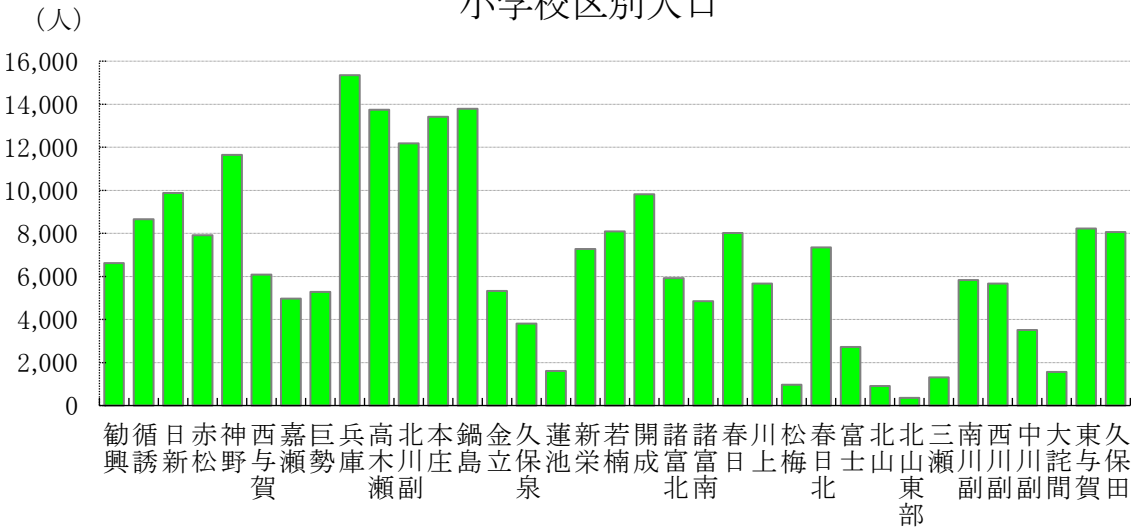
2) 平成26年から計測方法が変更された(境界等の変更はない)。

小学校校区別人口は兵庫校区 15,352 人が最も多い
 人口増加数は兵庫校区 1,753 人が最も多い

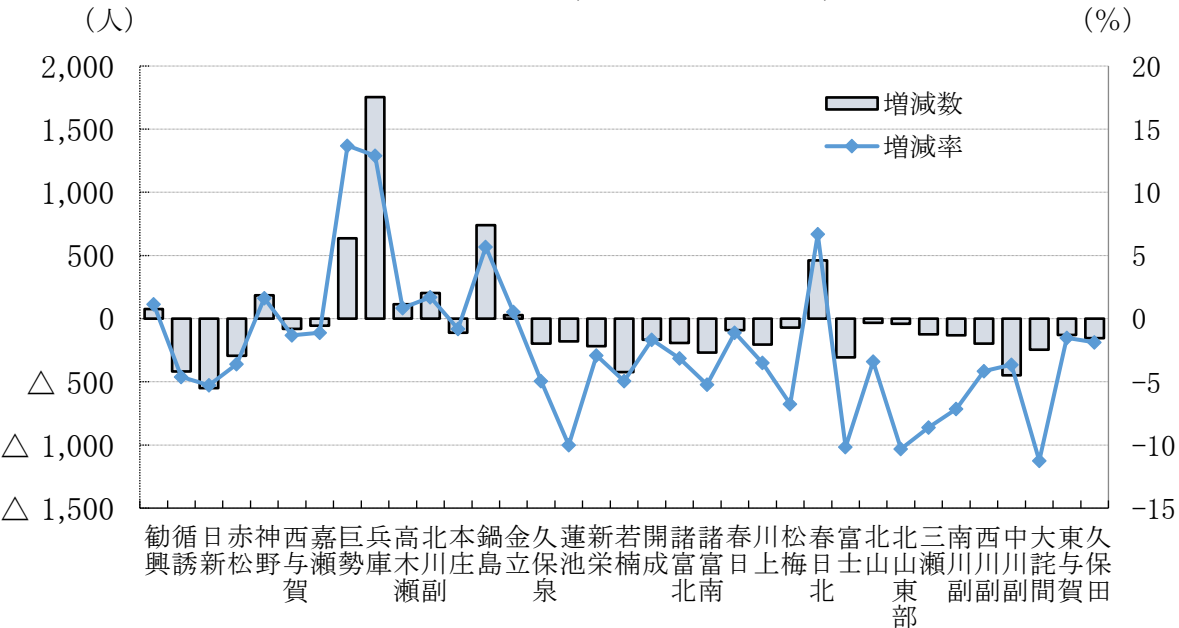
市の人口を小学校校区別にみると、兵庫が 15,352 人と最も多く、次いで鍋島が 13,793 人であった。人口 1 万人以上の 6 つの校区(兵庫、鍋島、高木瀬、北川副、本庄、神野)において、前回調査時と比べて人口が減少したのは本庄だけであり、兵庫については前回調査から 1,753 人増加した。

一方、人口 3,000 人以下の校区では人口はいずれも減少しており、減少率も高くなっている。特に富士、蓮池、大詫間、北山東部の減少率は 10%を越えている。

小学校校区別人口



小学校校区別増減数および増減率



小学校区別人口，年少人口，生産年齢人口，老年人口

	人口総数		年少人口		生産年齢人口		老年人口	
	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22
総数	236,372	237,506	32,324	33,762	141,105	147,400	60,734	54,548
勸興	6,623	6,548	786	778	3,968	3,910	1,631	1,539
循誘	8,654	9,072	882	1,061	5,067	5,432	2,520	2,474
日新	9,881	10,431	1,096	1,175	6,068	6,758	2,580	2,394
赤松	7,907	8,202	1,111	1,123	4,812	5,136	1,893	1,855
神野	11,653	11,467	1,472	1,632	7,432	7,375	2,554	2,262
西与賀	6,087	6,168	785	771	3,537	3,729	1,687	1,554
嘉瀬	4,962	5,018	557	553	2,619	2,771	1,774	1,690
巨勢	5,279	4,643	812	673	3,085	2,913	1,312	1,003
兵庫庫	15,352	13,599	2,768	2,558	9,864	8,724	2,454	2,146
高木瀬	13,737	13,622	1,923	1,967	7,742	8,224	3,980	3,387
北川副	12,187	11,984	1,717	1,672	6,948	7,200	3,489	3,086
本庄	13,414	13,525	1,556	1,599	8,831	9,105	2,740	2,574
鍋島	13,793	13,052	2,327	2,364	9,220	9,013	1,997	1,572
金立	5,323	5,295	829	773	3,000	3,164	1,491	1,357
久保泉	3,812	4,010	371	423	1,983	2,248	1,450	1,328
蓮池	1,608	1,787	169	237	926	1,044	511	506
新栄	7,276	7,494	967	1,134	4,554	4,961	1,701	1,373
若楠	8,096	8,518	1,047	1,282	4,959	5,444	2,008	1,737
開成	9,821	9,988	1,484	1,611	5,708	6,237	2,560	2,111
諸富北	5,922	6,114	706	745	3,167	3,505	2,047	1,858
諸富南	4,856	5,124	641	728	2,797	3,071	1,417	1,325
春日	8,010	8,101	1,304	1,399	4,756	5,047	1,924	1,620
川上	5,663	5,869	718	770	3,262	3,504	1,683	1,593
松梅	965	1,035	105	107	522	623	338	305
春日北	7,347	6,886	1,185	1,044	4,454	4,432	1,695	1,385
富士1)	2,716	3,023	230	301	1,371	1,626	1,114	1,096
北山	907	939	95	90	451	488	361	361
北山東部	356	397	42	40	166	202	148	155
三瀬	1,305	1,428	172	189	652	773	479	466
中川副	3,513	3,646	337	390	1,895	2,044	1,278	1,212
大詫間	1,562	1,760	135	182	886	1,036	540	542
南川副	5,826	6,274	636	816	3,362	3,698	1,825	1,759
西川副	5,673	5,919	804	808	3,292	3,750	1,574	1,351
東与賀	8,222	8,350	1,346	1,470	4,954	5,101	1,919	1,773
久保田	8,064	8,218	1,209	1,297	4,795	5,112	2,060	1,799

1)平成22年の富士小学校区の数値には旧富士南小学校区が含まれる。

人口の多い小学校区及び少ない小学校区

	人口が多い				人口が少ない			
	校区名	総数(人)	男(人)	女(人)	校区名	総数(人)	男(人)	女(人)
1	兵庫	15,352	7,193	8,159	北山東部	356	171	185
2	鍋島	13,793	6,466	7,327	北山	907	441	466
3	高木瀬	13,737	6,365	7,372	松梅	965	477	488
4	本庄	13,414	6,779	6,635	三瀬	1305	626	679
5	北川副	12,187	5,689	6,498	大詫間	1562	784	778

人口増加率が高い小学校区及び減少率が高い小学校区

	増加率が高い				減少率が高い			
	校区名	平成27年	平成22年	増減率	校区名	平成27年	平成22年	増減率
1	巨勢	5,279	4,643	13.7	大詫間	1,562	1,760	△ 11.3
2	兵庫	15,352	13,599	12.9	北山東部	356	397	△ 10.3
3	春日北	7,347	6,886	6.7	富士 1)	2,716	3,023	△ 10.2
4	鍋島	13,793	13,052	5.7	蓮池	1,608	1,787	△ 10.0
5	北川副	12,187	11,984	1.7	三瀬	1,305	1,428	△ 8.6

人口増加数が多い小学校区及び減少数が多い小学校区

	増加数が多い				減少数が多い			
	校区名	平成27年	平成22年	増減数	校区名	平成27年	平成22年	増減数
1	兵庫	15,352	13,599	1753	日新	9,881	10,431	△ 550
2	鍋島	13,793	13,052	741	南川副	5,826	6,274	△ 448
3	巨勢	5,279	4,643	636	若楠	8,096	8,518	△ 422
4	春日北	7,347	6,886	461	循誘	8,654	9,072	△ 418
5	北川副	12,187	11,984	203	富士	2,716	3,023	△ 307

年少人口が多い小学校区及び年少人口の割合が高い小学校区

	年少人口が多い				年少人口の割合が高い			
	校区名	平成27年	平成22年	増減数	校区名	平成27年	平成22年	増減率
1	兵庫	2,768	2,558	210	兵庫	2,768	2,558	18.3
2	鍋島	2,327	2,364	△ 37	鍋島	2,327	2,364	17.2
3	高木瀬	1,923	1,967	△ 44	東与賀	1,346	1,470	16.4
4	北川副	1,717	1,672	45	春日	1,304	1,399	16.3
5	本庄	1,556	1,599	△ 43	春日北	1,185	1,044	16.2

生産年齢人口が多い小学校区及び生産年齢人口の割合が高い小学校区

	生産年齢人口が多い				生産年齢人口の割合が高い			
	校区名	平成27年	平成22年	増減数	校区名	平成27年	平成22年	増減率
1	兵庫	9,864	8,724	1140	鍋島	9,220	9,013	68.1
2	鍋島	9,220	9,013	207	本庄	8,831	9,105	67.3
3	本庄	8,831	9,105	△ 274	兵庫	9,864	8,724	65.4
4	高木瀬	7,742	8,224	△ 482	神野	7,432	7,375	64.9
5	神野	7,432	7,375	57	新栄	4,554	4,961	63.1

老年人口が多い小学校区及び老年人口の割合が高い小学校区

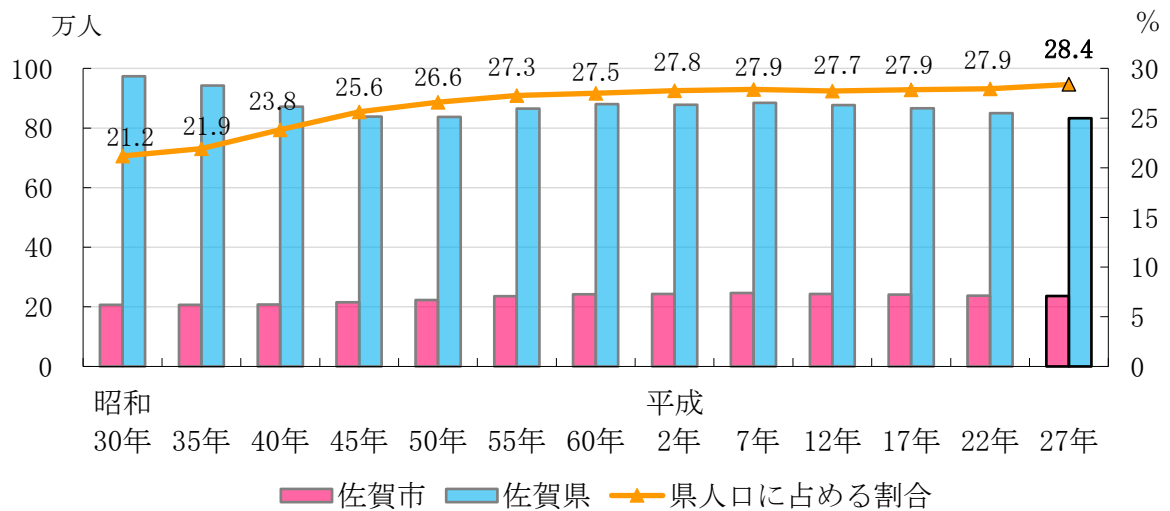
	老年人口が多い				老年人口の割合が高い			
	校区名	平成27年	平成22年	増減数	校区名	平成27年	平成22年	増減率
1	高木瀬	3,980	3,387	593	北山東部	148	155	41.6
2	北川副	3,489	3,086	403	富士 1)	1,114	1,096	41.0
3	本庄	2,740	2,574	166	北山	361	361	39.8
4	日新	2,580	2,394	186	久保泉	1,450	1,328	38.1
5	開成	2,560	2,111	449	三瀬	479	466	36.8

1) 平成22年の富士小学校区の数値には旧富士南小学校区が含まれる。

佐賀県の人口に占める佐賀市の人口の割合は 28.4%

佐賀県に人口は、832,832 人で前回調査時の 849,788 人に比べ、16,956 人(Δ2.0%)減少している。県人口に占める佐賀市の人口の割合(組み替え後)は、昭和 30 年以降、微増傾向が続いており、平成 27 年は 28.4%を占めている。

佐賀県,佐賀市の人口及び県人口に占める佐賀市の人口の割合の推移



佐賀市を含む県内 16 市町で人口が減少

人口の増減を佐賀県の市町村別にみると、人口が増加したのは鳥栖市、吉野ヶ里町、上峰町、江北町の 1 市 3 町で、佐賀市を含む 16 市町は減少となっている。

佐賀県内市別人口

市 町	平成27年 人口(人)	平成22年 人口(人)	平成22年～27年の 人口増減数(人)	平成27年～22年の 人口増減率(%)
佐賀県	832,832	849,788	△ 16,956	△ 2.0
佐賀市	236,372	237,506	△ 1,134	△ 0.5
唐津市	122,785	126,926	△ 4,141	△ 3.3
鳥栖市	72,902	69,074	3,828	5.5
多久市	19,749	21,404	△ 1,655	△ 7.7
伊万里市	55,238	57,161	△ 1,923	△ 3.4
武雄市	49,062	50,699	△ 1,637	△ 3.2
鹿島市	29,684	30,720	△ 1,036	△ 3.4
小城市	44,259	45,133	△ 874	△ 1.9
嬉野市	27,336	28,984	△ 1,648	△ 5.7
神埼市	31,842	32,899	△ 1,057	△ 3.2

佐賀県内町別人口

市 町	平成27年 人口(人)	平成22年 人口(人)	平成22年～27年の 人口増減数(人)	平成27年～22年の 人口増減率(%)
吉野ヶ里町	16,411	16,405	6	0.0 *
基山町	17,501	17,837	△ 336	△ 1.9
上峰町	9,283	9,224	59	0.6
みやき町	25,278	26,175	△ 897	△ 3.4
玄海町	5,902	6,379	△ 477	△ 7.5
有田町	20,148	20,929	△ 781	△ 3.7
大町町	6,777	7,369	△ 592	△ 8.0
江北町	9,583	9,515	68	0.7
白石町	23,941	25,607	△ 1,666	△ 6.5
太良町	8,779	9,842	△ 1,063	△ 10.8

* 0.04%の増減率を四捨五入したもの。

佐賀市, 長崎市, 鹿児島市以外の九州・沖縄県庁所在地の人口は増加

人口の増減を九州・沖縄の県庁所在都市別にみると, 佐賀市, 長崎市, 鹿児島市が減少し, 他の市は増加している。

県庁所在都市別人口 - 九州・沖縄

県 都 名	平成27年 人口(人)	平成22年 人口(人)	平成22年～27年 の人口増減数 (人)	平成22年～27年 の人口増減率 (%)
福岡市	1,538,681	1,463,743	74,938	5.1
佐賀市	236,372	237,506	△ 1,134	△ 0.5
長崎市	429,508	443,766	△ 14,258	△ 3.2
熊本市	740,822	734,474	6,348	0.9
大分市	478,146	474,094	4,052	0.9
宮崎市	401,138	400,583	555	0.1
鹿児島市	599,814	605,846	△ 6,032	△ 1.0
那覇市	319,435	315,954	3,481	1.1